

第4章 札幌市教育アクションプラン(前期)

1 施策体系

札幌市教育アクションプラン(前期)では、12の教育施策を展開することとしています。ここでは、この教育施策の具現化を図るために取り組むべき主な事業・取組を示しています。

基本的方向性	施策	施策の趣旨	主な事業・取組
<p>基本的方向性1</p> <p>一人一人が自他のよさや可能性を認め合える学びの推進</p>	<p>■一人一人のよさや可能性を生かし、多様性を尊重する態度を育むことで、自他の考えを広げ、新たな価値の創出につながる取組を進めます。</p> <p>■様々な悩みや不安を抱えた子どもの心のケア等、幅広い取組から、学校等が子どもたちにとって、安心感、充実感が得られる活動の場となるよう支援の充実を図ります。</p> <p>■一人一人の可能性を最大限に伸ばし、自分らしく豊かな生活を送ることができるよう、それぞれの状況を踏まえ、多様なニーズに対応した教育支援体制の整備を進めます。</p>	<p>施策1-1 主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進</p> <p>施策1-2 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進</p> <p>施策1-3 多様な教育的ニーズに応じた教育の充実</p> <p>施策1-4 誰もが安心して学びに向かうことができる支援の充実</p>	<p>夢を描き、実現しようとする意欲や、地域や社会の課題に対して解決に向かう意識等が醸成されるよう、主体的に考え行動する力を育む教育活動を推進します。</p> <p>しなやかさを育み、自分らしさを大切にするために、他者との関わりの中で、自他の尊重を基盤とし、豊かな人間性や社会性を育む教育活動を推進します。</p> <p>様々な環境にある一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行い、可能性を最大限に伸ばし、豊かな生活を送ることができるよう、教育内容の充実を図ります。</p> <p>いじめや不登校などの未然防止、早期発見のために、積極的な生徒指導を実施していくとともに、教育相談支援体制の充実や教育に係る経済的負担を軽減するための支援を図ります。</p> <p>・「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プランの推進【重点1】 ・「さっぽろっ子『健やかな体』の育成プラン」の推進【重点3】 ・課題探究的な学習モデル推進事業【重点1】 ・キャリアアプレンティス能力育成事業 ・外国語教育の推進【重点1】</p> <p>・「人間尊重の教育」推進事業【重点1】 ・道徳教育の推進 ・国際理解教育の推進 ・障がいのある子どもと障がいのない子どもとの交流及び共同学習の充実</p> <p>・校内における子どもの支援体制の充実【重点2】 ・医療的ケア児への支援体制推進事業 ・帰国・外国人児童生徒教育支援事業【重点2】 ・特別支援教育に関する私立幼稚園等の支援 ・公立夜間中学運営事業</p> <p>・不登校児童生徒のための新たな学びの場整備事業【重点2】 ・相談支援パートナー事業【重点2】 ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー活用事業【重点2】 ・いじめ対策・自殺予防事業 ・奨学金支給事業</p>
<p>基本的方向性2</p> <p>学校・家庭・地域総ぐるみで育み、生涯にわたり学び続ける機会の拡充</p>	<p>■学校・家庭・地域が一体となって地域全体で子どもたちを支援し、関わり合いのなかで子どもの声を大切にしたい学校・地域を目指すことで、子どもも大人も育ち合い、より良いまちづくりにもつながる活動の充実を図ります。</p> <p>■一人一人がより豊かな人生を送ることができるよう、全ての人々が、生涯にわたり学び続けられる場を充実させるとともに、持続的な地域コミュニティの形成に向けて、学んだ成果を生かすことのできる機会の拡充を進めます。</p>	<p>施策2-1 ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進</p> <p>施策2-2 家庭・地域の教育力向上を支援する取組の推進</p> <p>施策2-3 多様な地域資源を活用した豊かな学びや子どもの成長を支える取組の推進</p> <p>施策2-4 生涯にわたり学び、学んだ成果を生かすことのできる機会の充実</p>	<p>豊かな自然や文化を継承し、それらを活用した学びの展開や市民と協働した活動を通じ、ふるさと札幌への誇りと愛着を醸成する教育活動を推進します。</p> <p>子どもたちの健やかな成長を支えるため、保護者の不安や悩みに寄り添う取組や、地域で学びふれあう機会の充実を図り、家庭・地域の教育力向上を支援する取組を推進します。</p> <p>多様な地域人材や様々な団体・機関との連携・協働により、体験活動をはじめとする豊かな学習機会を提供できるよう、地域資源を活用した学びや子どもの成長を支える取組を推進します。</p> <p>生きがいを持って豊かな人生を送ることができるよう、誰もが生涯を通じて、学び続けられる場の充実とともに、学んだ成果を生かすことのできる機会の充実を図ることにより、「学び」と「活用」の循環を支えます。</p> <p>・【雪】【環境】【読書】に関する学習活動の推進(札幌らしい特色ある学校教育) ・文化・芸術体験を通じた情操を通じた取組 ・「ふるさと札幌」を心にもつ学びの充実 ・市立高校学校間連携・授業連携の推進</p> <p>・生涯学習施設における体験学習の充実 ・家庭教育事業 ・学校給食を活用した地産地消や家庭と連携した食育推進事業【重点3】 ・幼児教育に関する家庭への支援</p> <p>・科学館における大学、企業等との連携 ・コミュニティー・スクール推進事業 地域と学校の協働体制支援事業 ・地域人材を活用した学校図書館運営事業 ・学校部活動における外部人材の活用の推進【重点3】</p> <p>・「さっぽろ市民カレッジ」の充実 ・図書館における講演会・図書展示等の充実 ・「札幌市図書・情報館」のサービスの充実</p>
<p>基本的方向性3</p> <p>社会の変化に対応した教育環境の充実</p>	<p>■デジタル化・グローバル化などの様々な環境変化に対応し、子ども一人一人の学びを支える教育環境の充実を進めます。</p> <p>■地域における人々の課題解決を支援する学びの場として、生涯学習センターや図書館等の機能を強化し、生涯にわたる学びを支える環境の充実を進めます。</p>	<p>施策3-1 安全・安心な教育環境の整備</p> <p>施策3-2 教育DX推進に向けた教育環境の整備</p> <p>施策3-3 子ども一人一人の学びを支える教職員の資質向上と指導体制の構築</p> <p>施策3-4 豊かな生活につながる学びの環境の充実</p>	<p>安全教育と子どもの安全管理の推進を図るほか、教育を取り巻く環境変化を踏まえながら、子どもたちや市民が安心して充実した教育機会を得られるよう、一人一人や家庭、地域の状況に合わせた教育環境を整えます。</p> <p>ICTを活用して情報活用能力を育成するとともに、教育データを利活用しながら、様々な学びや支援へのニーズに対応する教育環境の整備を進めます。</p> <p>デジタル化やグローバル化などの様々な環境変化に対応し、子ども一人一人の学びを支える教職員の資質向上と指導体制の充実を図ります。</p> <p>生涯を通じた主体的な学びを支援するため、健康で豊かな生活につながる学びや地域の課題解決にかかわる学びなど多様な学びが活発に行われる環境の充実を図ります。</p> <p>・安全教育の充実 ・地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 ・給食提供における安全対策の充実 ・学校施設バリアフリー化整備事業</p> <p>・GIGAスクール構想推進事業 ・ICTを活用した教育の推進【重点1】 ・ICTを活用した校務支援の充実 ・学校におけるネットトラブル等対策の推進</p> <p>・教職経験に応じた研修の充実 ・幼児教育を支える人材の育成に向けた研修の充実 ・養成段階の教職志望者への研修などの推進 ・小学校における少人数学級の拡大</p> <p>・生涯学習関連施設の管理運営 ・学校保健の充実【重点3】 ・図書館による情報提供の充実</p>

第4章 札幌市教育アクションプラン(前期)

2 成果指標

施策ごとに1～2の指標を設定し、計画全体で23項目を設定しています。成果指標は、市民への分かりやすさ、施策における代表的な要素を踏まえながら選定しています。

基本的方向性	施策	成果指標	当初値(R4年)	目標値(R10年)
基本的方向性1 一人一人が 自他のよさや可能性を認め合える学びの推進	1-1 主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	自分の目標をもって生活している子どもの割合	—	80%
		疑問や課題を解決するために、自分で方法を考えるようにしている子どもの割合	78.1%	85%
	1-2 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進	自分にはよいところがあると考えている子どもの割合	78.8%	90%
		自分が必要とされていると感じている子どもの割合	61.6%	80%
	1-3 多様な教育的ニーズに応じた教育の充実	通常の学級に在籍する特別な教育的支援が必要な子どものうち、個別の教育支援計画を支援に生かすことのできた子どもの割合	—	80%
		学びのサポーターとの連携等により、支援の充実を図ることができた学校の割合	92.0%	100%
	1-4 誰もが安心して学びに向かうことができる支援の充実	「自分が安心して学ぶことができている」と考えている子どもの割合	—	95%
		先生や家族以外にも相談できる大人がいると考えている子どもの割合	—	90%
基本的方向性2 学校・家庭・地域 総ぐるみで育み、生涯にわたり学び続ける 機会の拡充	2-1 ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進	「札幌っていいな」と感じている子どもの割合	—	90%
		振り返りを通して、自分の伸びや成長を感じることがあると答えた子どもの割合	72.6%	90%
	2-2 家庭・地域の教育力向上を支援する取組の推進	家の人や地域の人に認められたり、支えられたりしていると感じることがある子どもの割合	—	90%
		家庭教育事業への参加が、今後の家庭教育に役立てることができると感じた市民の割合	—	91%
	2-3 多様な地域資源を活用した豊かな学びや子どもの成長を支える取組の推進	地域学校協働活動に参加している子どもの年間延べ参加者数	13,061人	140,000人
		自分の学びや成長に学校以外の様々な人が関わっていると感じている子どもの割合	—	90%
	2-4 生涯にわたり学び、学んだ成果を生かすことのできる機会の充実	生涯学習をしている市民の割合	76.2%	80%
		さっぽろ市民カレッジでこれまでに学んだ成果を生かしているまたは今後生かしたいと考えている市民の割合	—	80%
基本的方向性3 社会の変化に対応した教育環境の充実	3-1 安全・安心な教育環境の整備	自分の学ぶ環境は、安全面での配慮がされていると考えている子どもの割合	—	100%
		公立学校施設へのエレベーター整備数	52校	129校
	3-2 教育DX推進に向けた教育環境の整備	情報の正しい活用の仕方を見て端末を使っている子どもの割合	—	90%
		授業や校務にICTを効果的に活用できる教員の割合	81.9%	90%
	3-3 子ども一人一人の学びを支える教職員の資質向上と指導体制の構築	研修における学びを生かして子どもの学びの充実を図っていると答えた教職員の割合	—	100%
	3-4 豊かな生活につながる学びの環境の充実	自己の発育や健康状態に関心をもつ子どもの割合	—	100%
		図書館の年間延べ来館者数	2,258,324人	2,500,000人

第4章 札幌市教育アクションプラン(前期)

3 第1期計画の振り返りをふまえた重点項目

第1期計画では、様々な教育施策を展開してきましたが、現状において、以下の通り、重点的に取り組むべき課題がみられます。

○子どもたちの現状として、他者から承認される喜びや大切さを感じながらも、自分を承認することには結びついていない

○いじめの認知件数や不登校児童生徒数が増加傾向にあり、個々の状況に応じた支援が求められている

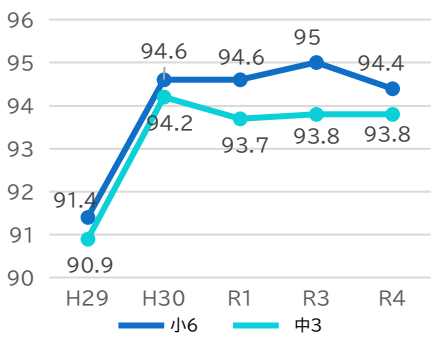
○体力・運動能力については低下傾向が続いており、全国・北海道(札幌市を除く)との差が大きくなっている

以上のことを踏まえ、札幌市教育アクションプラン(前期)の5年間では、右の3つの項目について重点的に取り組みます。

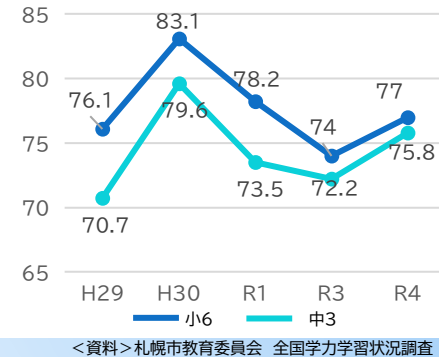
調査項目	小学5年	中学2年
人の役に立つ人間になりたいと思う	93.3%	91.2%
人の役に立ててうれしいと感じることがある	91.9%	91.0%
友だちのよいところを見つけようとしている	87.9%	90.2%
自分にはよいところがある	79.5%	75.8%
自分が必要とされていると感じる	62.0%	61.1%

<資料>札幌市教育委員会 R4年度 札幌市全体の共通指標「学習などについてのアンケート」

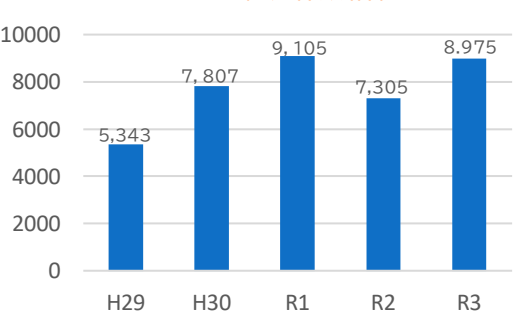
人の役に立つ人間になりたいと思う(%)



自分にはよいところがある(%)



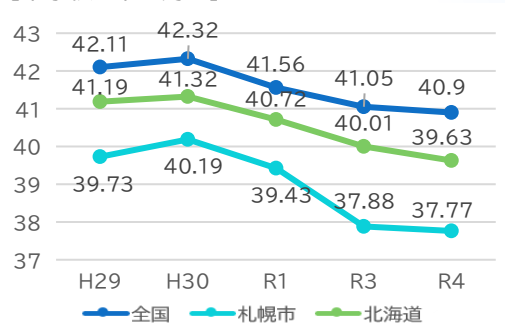
いじめの認知件数(件) 小中の合計



<資料>札幌市教育委員会 問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

全国体力・運動能力、運動習慣等調査 体力合計点(点)

【中学校2年生男子】



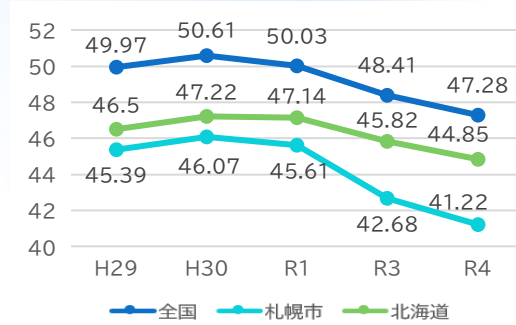
<資料>文部科学省 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

不登校児童生徒数(人)



<資料>札幌市教育委員会 問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

【中学校2年生女子】



<資料>文部科学省 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

札幌市教育アクションプラン(前期)の5年間で重点的に取り組んでいく3つの項目(重点項目)

共生社会を担う力の育成

重点1

他者の大切さを認めるとともに、自分の大切さを認めることで、自分のよさや可能性に気づき、主体的にとりくむ態度や行動力などを身に付ける教育活動の充実を図ります。また、互いの個性や多様性を認め合い、他者と協働する機会を通し、多面的・多角的な思考を身に付けることで、共生社会の実現に向け新たな価値を創造する力を育みます。

<主な事業・取組>

- ・さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プランの推進 (施策1-1)
- ・課題探究的な学習モデル推進事業(施策1-1)
- ・外国語教育の推進(施策1-1)
- ・「人間尊重の教育」推進事業(施策1-2)
- ・ICTを活用した教育の推進(施策3-2)

誰一人取り残されない教育の推進

重点2

すべての子どもの個性を尊重し、多様な教育的ニーズに応じた教育環境の整備を進め、どの子ども自らの可能性を發揮しながら学び育つことのできる教育活動の充実を図ります。また、いじめや不登校等の様々な子どもの困りや悩みに真摯に向き合い、誰もが安心して学びに向かうことのできる教育環境の実現を目指します。

<主な事業・取組>

- ・校内における子どもの支援体制の充実(施策1-3)
- ・帰国・外国人児童生徒教育支援事業(施策1-3)
- ・不登校児童生徒のための新たな学びの場整備事業 (施策1-4)
- ・相談支援パートナー事業(施策1-4)
- ・スクールカウンセラー活用事業(施策1-4)
- ・スクールソーシャルワーカー活用事業(施策1-4)

生涯にわたる健やかな体の育成

重点3

子どもの頃から主体的に運動する習慣が身に付くよう、「運動の楽しさ」にふれることを重視した教育を推進するなど、生涯にわたって、健康で豊かな生活を送ることができるよう、自ら健康を保持増進しようとする態度の育成や、体力向上に向けた運動習慣を身に付けるための取組を進めます。

<主な事業・取組>

- ・さっぽろっ子「健やかな体」の育成プランの推進 (施策1-1)
- ・学校給食を活用した地産地消や家庭と連携した食育推進事業(施策2-2)
- ・学校保健の充実(施策3-4)
- ・学校部活動における外部人材活用推進(施策2-3)

第5章 計画の推進と進行管理

1 進行管理

○本計画を着実に推進するため、PDCAサイクルに基づき、毎年度、成果や課題を評価・検証し、社会状況の変化に応じた施策の見直しや新たな施策の立案等、必要な改善・見直しを行います。
○計画期間内の目標や事業計画の達成・進捗状況について、「教育委員会事務点検・評価」を活用し、毎年度事業ごとに点検と評価を実施しながら、広く市民の皆様公表していきます。

2 市民及び関係機関等との連携・協働

○学校・地域・家庭・行政の各主体が、教育においてそれぞれが果たすべき役割を認識し、主体的に子どもの教育や生涯の学びに関わるとともに、それぞれが連携し相互補完しながら取り組み、各種団体や企業、大学など多様な主体の協力と参画を得て、教育の更なる充実を目指します。
○市民の生涯にわたる学びにつながる取組は、子育て支援や、スポーツ・文化の普及・促進、環境教育の推進、国際化の推進など様々な分野にわたることから、今後も札幌市の関係部局と組織横断的な取組を推進するとともに、国、北海道、その他関係機関等と連携協力を図っていきます。